

蘇水公園にて八百津町商工会青年部 創立40周年記念植樹式

6月18日、商工会青年部創立40周年を記念し蘇水公園にて桜の植樹を行いました。

当日は猛暑日ということもあり非常に暑い中でしたが、現役の部員が中心となり来賓のみなさま、OB部員の方々と共に汗を流しました。

今回「八百津のためになること」を考え、このように桜を植樹させていただきました。この桜が花を咲かせ、将来的には地元の方たちのお花見スポットになればと思っております。八百津を盛り上げるために今後も一生懸命頑張っていきます！これからも青年部を宜しくお願いいたします！



<部長、委員長あいさつ> 青年部部长 白田篤志氏



商工会青年部は、さまざまな業種の人たちで構成されている団体です。年間を通して事業の勉強会を行い、また地域の活動に積極的に参加して、その中から得られる自分自身の成長や八百津町の発展を願い、日々部員たちと話し合いの場を作り、知恵を出し合いながらさまざまなことに挑戦しています。

青年部の魅力としては、異業種の集まり！であることが大きいと感じています。お互いの個性が、話し合う中で新しい発想が生まれ、考える幅が広がることです。

今年度、創立40周年を迎えることが出来ました。40周年記念事業として6月に蘇水公園にソメイヨシノを植樹させていただきました。有加委員長を中心に部員が積極的に取り組み無事植樹を行うことが出来ました。各関係者のみなさまには、多大な協力を頂き感謝申し上げます。

これからも青年部は、桜の成長とともに自身の成長・地域貢献に取り組んでいきますので、みなさまのご協力、ご理解の程よろしくをお願いいたします。

<40周年記念事業委員長あいさつ> 有加佳直氏

八百津町は、杉原千畝さんや半沢直樹の作者の池井戸潤さん生誕の地として、産業では栗きんとんや煎餅、精密なネジ関連、お酒の蔵元、久田見のアゲなどたくさんの魅力を持った町だと思っています。これから私たちが生きていかなければならない時代は、少子高齢化の時代になり、私が住んでいる東部地区だけでなく八百津全体が限界集落となりうる可能性があります。そうならないためにも、今私たちが取り組むべきことは、地域を盛り上げて他の市町村から人が来てもらえるような町づくりであり、地元産業が収益を上げていけること、なにより八百津町出身であることを誇りに思えること、子供たちが八百津に住みたいと思えるかどうかではないでしょうか。



今回、40周年記念行事の一環として、商工会青年部員・OBの先輩方のアドバイスをいただきながら蘇水公園での記念植樹となりました。事業開催にあたり、町長はじめ役場のみなさんの協力もあり良いイベントができたことに感謝しています。

蘇水公園に行かれた際には、かわいい看板をさがしてみてくださいね。